

よく考え すぐ実行し 常に最善をつくす

奥州市立東水沢中学校通信

NO.23

令和6年2月13日(火)発行

東風

心豊かなふるさとを創ろう ～「はるかのひまわり」リモート交流会～

1月26日(金)、3年生が「はるかのひまわり」リモート交流会を行いました。この交流会は総合的な学習の時間の一環として取り組んできた「はるかのひまわり」の活動について、兵庫県神戸市で「はるかの絆プロジェクト」を展開している代表の松島俊哉様から活動の経緯や現在の活動状況について改めて学ぶために行いました。

松島様からは、阪神淡路大震災で被災して亡くなった「はるかさん」を象徴するように咲いていたひまわり、そのひまわりの種を育て、「命の尊さ」と「人とのかかわりの大切さ」を学び、心豊かな故郷を創ろうと全国各地に展開している話を伺いました。

東水沢中学校では東日本大震災が起きた平成23年度に被災地である大船渡中学校から種をいただき、今年度までひまわりをこの地に咲かせ続けてきました。3年生はこの交流会で学んだことや自分たちの思いを伝統伝達式の場で後輩たちにも引き継ぐ予定になっています。ぜひ、後輩たちもこの思いを引き継いでほしいと願っています。



先輩らしく～小中交流会を行いました～

2月7日(水)、来年度入学予定の6年生児童を迎え、小中交流会を行いました。交流会では、1学年委員の皆さんが校舎案内をしたり、1年生が小グループになり、中学校の学習や生活を説明したりするなど先輩らしく会を進めました。また、体育祭で取り組んだ『どっこいしょ』を1年生全員で披露し、各クラスのまとまりも示しました。

1、2年生の皆さんには、4月に入学してくる新入生を先輩として温かく迎え、東中生のあるべき姿を示してくれることを期待しています。



放射線に対する正しい知識を ～放射線・エネルギー出前授業～

1月30日（火）と31日（水）の2日間、2年生理科授業の一環として、日本科学技術振興財団の協力のもと、岩手医科大学付属病院 放射線技師 岩城龍平さんをお招きして、【放射線・エネルギー出前授業】を行いました。

授業では放射線について漠然と持っている生徒たちの知識を確認したり、霧箱の実験をして、放射線の動きを確認したりしながら、正しい知識を教えてくださいました。そして、危険ではあるけれど役に立っていることや、自然界にも存在することなど、新たな知見を得ることができました。

生徒の感想を紹介します。

○放射線は体に害を与えたり原爆でも放射線によりたくさんの命が失われていて嫌な印象だったけど、がんを治したり、レントゲンを撮ったりなど沢山の場面で救われているなど学べた。

○放射線は私達のことを助けてくれるものでもあるし、時には危ないときもあるという不思議なものだと知った。私は「ラジエーションハウス」を見ていたのでお話がすごく興味深くて聞いてて楽しかった。放射線は私達を助けてくれるすごいものでもあるので関わり方を考えて正しくつきあっていくことが大切だなと学んだ。



今、できることを～能登半島地震義援金募金活動～

令和6年1月1日に令和6年能登半島地震が発生し、石川県をはじめ、多くの方が甚大な被害に遭われました。

この事態に対し、できることは何かを生徒会が考え、義援金募金活動を校内外で行いました。

今回の募金活動で集まった金額は

209,427円

でした。生徒の皆さんやご家族、地域の皆様のご協力に

大変感謝申し上げます。集まったお金は奥州市社会福祉協議会を通じて、被災地に届けられます。



【各種大会・コンクールの結果】

○胆江地区中学校体育連盟（2月2日）

栄光賞 男子バスケットボール部

○第52回 J A 共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクール（2月2日）

学校賞